

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アトリエあいおん				公表日	令和 6年 10月 21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 受け入れ前に席順や課題を準備し、支援室内の動線の確保をしています。 個々の活動内容も踏まえ、席を決めて適切なスペースが確保できるように対応しています。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 適切な配置に加え、障害者支援経験者、元教員が在籍しています。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 道具の保管場所など視覚的に理解しやすい配置をしています。 東京都の指導に基づき環境への配慮をしています。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 消毒や清掃、換気等を欠かさず行っています。 毎日清掃や消毒を行い、職員全体で整理整頓を心掛けています。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	3	<ul style="list-style-type: none"> 着替えが必要な時のみ、使用しています。 個人別に机を用意したり、状況に応じて適切な距離を保てるように必要に応じた環境設定をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム上、用具を使う際に支援者の目が届く必要があり、長時間の個室対応は安全管理上も難しいと考えています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 毎回、利用者の情報共有や個々の課題点など問題解決に向けた職員ミーティングを行い、サービスの提供に努めています。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けのアンケート調査を実施、評価を職員間で共有し改善しています。 アンケート以外にも面談や電話、メールで伺った情報や意向を踏まえて業務にあたっています。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 支援に関しては毎回、活動の前にミーティングを行い意見統一を図り臨んでいます。また、活動後にも個々の支援に対する振り返りをしています。その際、支援以外の業務に関する意見交換も行っています。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価は行っていませんが、保護者からのアンケートを基に必要に応じた改善を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価の費用負担は高額であり、現状その額の捻出は難しいものがあります。成人の事業のように補助があれば是非、受けたいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 法人全体の研修で権利擁護や防災、事例検討研修等があり、外部の資格講習にも参加する機会があります。 定期的に職員会議を開催し利用者の動向や支援、また業務改善の余地はないかを話し合っています。 	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 保護者には利用説明会にて支援に関する基本方針を説明しています。以降、家庭のニーズを確認しながら個々の支援プログラムに反映し、個別支援計画面談で詳細をお伝えしています。 	<ul style="list-style-type: none"> HPの公表は今年度新たに加わった項目のため、準備中です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 計画期間ごとにアセスメントを行った上で、個別支援計画を作成しています。個別支援計画面談の中でニーズの聞き取りや保護者と支援方法について共有しています。 	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> サービス計画の立案は利用者に関わる職員で意見交換を行い検討、作成しています。 関わる職員から児童の状況についてヒヤリングを行い、多角的な視点で立案しています。 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 職員間で利用者の情報を共有し、計画に則って日々の支援を行っています。 毎回、職員が計画を確認した上で教材準備、支援にあたっています。 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 基準となる教材を用いてフォーマルなアセスメントを行い、個々の課題を明確にした上で個別にアプローチをしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの状態によっては、標準化されたツールでのアセスメントが難しいため、柔軟で幅広い対応ができるツールも活用していきたいと思っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 今年度7月にこども家庭庁から詳細版が発表されたばかりの項目については、適宜準備を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政の方針で今年度に入ってから計画フォーマットが変更されたため、項目を暫定的に設定しています。本人や家族からのニーズを反映させ、必要に応じてより適切な形に整える予定です。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> プログラムやイベントの企画は、職員間で意見交換し、検討しながら決定しています。 	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・利用者の興味、技術面を考慮した上でプログラムに反映させています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・利用者個人の特性を踏まえ、課題は個別課題と共同制作に分けて活動しています。また、その内容に関しては個別支援計画に反映しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・利用者の受け入れ前に、必ず当日の流れと、利用者の情報を共有するようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・活動終了後に個々の様子を記録すると共に職員間で情報共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・業務日誌、ケース記録、サービス提供記録で管理しています。また、活動後に利用者の様子を職員間で振り返り、支援の検証や次回の活動内容の確認を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・3ヶ月に一度、若しくは半年に一度はモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4		・個々の支援に重点を置いてガイドラインに沿った支援を行っています。絵画コンクールに出品する提案や将来の余暇の過ごし方の提案をしています。	・今年度7月にこども家庭庁から詳細版が発表されたばかりの項目については、適宜準備を進めています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・日々の創作活動を通して、自身のイメージを具現化できるように技術訓練やアドバイスを行っています。 ・難しい場合には選択肢を少なくしたり、本人が興味のある事柄を軸に活動内容を決めています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・現状、具体的なニーズはありませんが、児童発達支援管理責任者、児童指導員など子どもをよく知る職員が必要に応じ対応させていただきます。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・契約時に希望があれば、医療機関等の連絡先を控えて連携の体制を整えます。 ・状況に応じて対応できるようにしています。	・放課後等デイサービス事業所が単独で主導して体制を整えることは、立場上難しいと感じています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	・送迎は行ってないため、送迎に関する連絡はありません。保護者から依頼があれば学校との情報共有を行っています。	・年間予定などは、ホームページなどで確認しています。学校によっては、外部への情報を精査されているため、確認が難しい場合があります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		・主に保護者からの聞き取りや書面での情報共有になりますが、生育の背景を知った上で、個々に応じた配慮を心掛けています。	・現状、過去利用していた機関との直接の情報共有を求められたことはありません。連携の依頼があった場合には対応いたします。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		・保護者の同意を得た上で相談支援事業所と連携し、円滑に情報共有や引継ぎを行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		・数名の職員が見学、訪問しています。 ・市の障害福祉課内に設置されている基幹相談支援センター主催の研修などに参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		・近隣に左記の施設がなく、また機会もないため行っていません。 ・系列の事業所間での交流は行っていますが、外部の施設等とは機会がなく行っていません。	・支援プログラムにおいて、個々の活動（技術、手指の巧緻性の向上）やグループワークに重点を置いていますが、外部交流についてはニーズがあれば検討いたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		・事業所連絡会に参加しています。また、自治体の広報誌や地域の事業所一覧に掲載して頂いています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・日々の様子を支援員が提供記録に記入し、情報提供・交換に努めています。また、迎えの場合は口頭で直接お伝えしています。その他、電話やメールでも発達に関する相談を行う場合があります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・経験に基づき、日々の接し方や家庭で出来る支援方法を提案しています。 ・家族が将来の見通しを持つことを目的に、希望者に法人内の成人向けの事業所見学会を開催しました。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に運営規定と利用者負担額、支援内容等を説明しています。 ・特に福祉サービスが初めての方に、弊所以外の部分でも不明な点がないか確認するようにしています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・利用者は活動時、保護者には日頃の情報交換や個別支援計画面談時に確認をしています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		・計画案に加えて、活動の成果物や目標到達点となる見本を提示しながら具体的に成長のプロセスを確認し、計画への同意をいただいています。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・日々の様子を支援員が提供記録に記入し、情報提供・交換に努めています。また、迎える際、口頭で直接お伝えしています。その他、電話やメールでも発達に関する相談を受けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		・展示会を開催して、保護者のみならず兄弟や親戚に事業所へ足を運んでいただける機会を作っています。 ・不定期的ですが保護者会を開催しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・契約時に苦情に関する窓口を案内し、適切な対応が出来るように努めています。重要事項説明書に、第三者窓口についても記載しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・ホームページやSNS等で定期的に活動の様子や情報を発信しています。 ・関係機関にも活動内容が把握しやすいように外部への発信を心掛けています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・取り交わした個人情報使用同意書に基づいて、十分に留意して管理しています。 ・鍵付き書庫で管理し、取り扱いについて職員に周知しています。	・必要に応じて複数名で内容の確認を行っていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・必要に応じて視覚的な支援を取り入れ、意思の疎通を図っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		・地域の方にも活動を理解していただくために毎年秋の展示会を開催しています。また、常にショーウィンドウには利用者の作品を飾り地域の方にご覧いただいています。	・毎年11月開催の展示会をより外部に向け広報したいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・マニュアルを作成し、定期的に研修や訓練を実施しています。 ・保護者にも災害用伝言ダイヤル171を活用して発災時の訓練に参加していただいています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・BCPを策定して、災害時に備え定期的にマニュアルを作成し、定期的に研修と訓練を行うようにしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・毎年フェイスシートで服薬について確認をしています。また、てんかん症状のある方には事前に保護者と緊急時の対応について取り決めをしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・アレルギーの有無に関しては、契約時に必ず確認しフェイスシートに記入していただいています。また、アレルギーの一覧は職員が確認できる場所に提示しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・法人の全体研修で安全管理に必要な訓練を実施しています。 ・各マニュアルを作成し、定期的に研修と訓練を行うようにしています。	・マニュアルを年に一度見直し、アップデートを図りたいと思います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・HP、SNS等を通して、研修の実施とその様子をお知らせしています。 ・事業所内に避難経路等、情報の掲示をしています。 ・契約時に非常時の対応について説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・ヒヤリハット報告書を作成して共有し、再発防止に努めています。	・職員全員が敏感に対応することを目的として他所の事例を参考に意識の引き上げを行いたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・法人内に虐待防止委員会を設置し、委員会主導のもと定期的に虐待防止の職員研修を実施しています。また、主となる職員が外部研修に参加しフィードバックを行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・開所から現在まで、該当事案はありませんが、契約時に説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義（自傷、他害など）について記載しています。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アトリエあいおん		
○保護者評価実施期間	R 6年8月28日		～ R 6年9月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	R 6年9月24日		～ R6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 10月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容・プログラムの多様化	個々の興味や能力に応じた活動内容を提供できるよう心掛けている。	プログラムの立案が一部の職員に偏らぬよう、それぞれの意見やアイデアが出しやすい土壌を作る。
2	専門性の高い支援と知識	研修・交流会への積極的な参加により知識や支援力の向上を目指している。また、利用者の個々の課題に対して、より専門的な観点から意見交換を行い、アプローチの掛け方を検討している。	研修に参加した職員からの情報共有を積極的に行い、職員の知識を深いものにしていく。報告書を作成し、知識のアップデートを行う。教材の研究。
3	効率的なPDCAサイクル	出来ないことに対してなぜ出来ないのか分析し、成功に近づける工夫を行っている。	支援者会議を開催し、教材や支援方法など広く職員からアイデアを募ることで、より有効な支援法を模索する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害対策マニュアルの改善	現在よりも詳細なマニュアルを準備する。 状況を多角的に捉え、柔軟に対応する職員の意識の向上。	定期的に既存のマニュアルの見直しを行う。(詳細なマニュアル作成とアップデート) また、緊急時の対応マニュアルの周知。(利用者への情報発信)
2	ヒヤリハットの書類対応	ヒヤリハットの書類の活用が不十分。	活動の中でヒヤリハットに相当する事象か否かを職員間で広く検討した上で細かな事例も書類に残し管理する。また、再発防止のための改善策や情報共有はできているが、他所も含めたヒヤリハットの事例を検討し、確認を行うことで当事者、関係者以外の意識の引き上げを行う。
3	SNS等の活用と情報発信	SNS等の活用手段や知識の不足。	現在、インスタグラム、Facebookを活用しているが投稿回数を増やすことで事業所の取り組みを外部へ広く発信していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アトリエあいおん

公表日 令和6年10月21日

利用児童数 令和6年9月1日 37家庭

回収数 30家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	2	0	0	・いつも子供としっかり向き合っていた だいでおり感謝しております。	・ご満足いただいているようで安心いた しました。活動内容にもよりますが個々 の基本的な活動スペースは確保できてい ると思います。できるだけ教室内を整理 し、より活動しやすい環境作りを心掛け ていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29	1	0	0	・ひとりひとりの作業スペースを確保し ていただける旨、またそのことを重要に 考えていただいている旨、説明会でお話 いただいたとおり、子供たちが十分な 作業スペースを与えられて集中して取り 組んでいる様子がわかり、大変ありがた く思っております。また、先生が子供 についてくださって手厚くご指導いただ けることについても、非常に恵まれた環 境だと思っております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	0	0	0		
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	29	1	0	0	・本人が飽きないように、様々なプログラ ムを提供いただいていると思います。	・支援プログラムの公開が遅くなり申し 訳ありません。今年度中の公開を予定し ており、準備ができ次第、公表させてい たいただきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	27	1	0	2	・支援プログラムについては、貴所の ホームページで「PDFで公開予定」と なっており確認ができなかったので、 「わからない」を選びました。それから 4問目の質問がありませんが、選択しな い進めないで「わからない」としま した。	・家庭との情報交換、共有が出来てい ると実感していただいているようで嬉し く思います。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	29	1	0	0		・個性に合わせたプログラムや専門的な 支援を更に充実させるべく、職員全体で 取り組んでいきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	27	1	0	2	・いつも子供の特性を丁寧に考えたい だいでご指導いただいております、大変あり がたく思っております。日々のご提供 記録もですが、面談の際にも細やかなお 話を聞かせていただけるので、私たちも 大変勉強になっております。	・日々の活動は個人制作がメインとなり ますので、できるだけ利用者の意見を汲 んで作品に反映させています。また、同 時に技術面の向上も視野に入れ、個々の 課題の克服に取り組んで行きたいと思 います。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	30	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	9	2	12	7		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0	・個人情報の取扱いに十分留意されてい ると思いますかの質問で『はい』が入力 できませんでした。何か選択しないと次 にいけなかったため、『どちらともい えない』を入力しました。 いつも丁寧にいただいていると思 います。	・家庭支援プログラムに関しては必要に 応じて個別支援計画面談の中で具体的に 提示できたらと考えています。また、ご 家庭でできる専門的な取り組みも今後、 職員間で検討していきたいと思 います。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	28	0	0	2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	22	6	0	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	29	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいの支援がされていますか。	18	3	2	7		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	27	1	0	2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	1	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	0	0	7	<p>・この項目の質問については、マニュアルや計画、訓練等を実際に見たことがないので「わからない」としましたが、ホームページの自己評価表を拝見し、マニュアルや訓練の実施などがあることは把握しています。</p> <p>・十分に配慮いただいていると思います。</p>	<p>・不定期ですが事業所内において避難訓練を実施しています。また、保護者の方には171を利用した非常時の対応について確認していただいています。職員は法人の全体研修で安全管理に必要な訓練を実施しています。</p>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	0	0	8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	0	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	0	0	6		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0	<p>・好きなことを伸ばしていただいているな、と感じます。言語発達がまだまだなのですが、うまく本人の意向を聞き出していきたい、満足する作品ができています。あのおんに行くために学校に行く、というほど楽しみに通所しております。</p> <p>・100%満足です。</p> <p>・とても手のかかる子ですが、その時その時に丁寧に対応していただき、大変感謝しております。今後とも、よろしく願いいたします。</p> <p>・のびのびと通わせていただいております。手作業全般に苦手がありますが、おかげさまでいつも迎えの時に生き生きとしているのがわかります。</p>	<p>・ご意見ありがとうございます。アトリエあいのんの支援に対し満足いただけているようで何よりです。今後も現状に満足せず、更なる支援の充実を図っていきたいと思います。</p>
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	3	1	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1	0	0		

・一緒に活動している友達が～して・～と言って嫌だった、などと言うことがあります。うちの子を含め、放課後デーサービスを利用する子供達なので、何らかの障害があることを考えると、何と言ってあげればよいか迷うことがあります。

・あいおんの先生に〇〇を見せるー！と、楽しみにしています。また何をしたの？と聞くと、〇〇したのーと教えてくれたり、お友達が何をしている、何が好きということも気になるようで教えてくれます！

・アトリエあいおんが大好きで、娘の心の拠り所となっています。これからもよろしく願いいたします。

金曜日は静かでいいと言っています。

・いつも本人に寄り添っていただきありがとうございます。あとリエで作った本棚を自分の机に設置して、コロコロコミックを並べて嬉しそうにしていました。最近、通所の日の朝は「今日は〇〇の作業をする予定なんだ」という話を自分からしてくれるようになりました。今後ともよろしく願いいたします。

・通所を楽しみにしている。

・楽しく通っています。時間を潰しているのではなく、絵が学べて自分の強みになるので、うれしそうです。

・プログラムだけでなく、生活習慣やマナー面について、本人の特性とコンディションに合わせて指導いただいています。

・本人も目的意識を持って通うことができ、家族共々感謝しております。いつもありがとうございます。

楽しいだけでなく自分なりの目標を持って通っているように思います。自分の作品は宝物のようです。

・今までは、ただ、書くだけの路線図。その路線図が素敵な作品になっているのを見せていただいた時、とても嬉しく思いました。額装したい気持ちです。今後ともよろしく願いいたします。

・毎回、やったことを確認しています。時間がかかりながらも、本人の納得の行くように、製作が進んでいるように感じています。

・自然体でそこにいることができ、専門的なアドバイスをしていただきながら、自由に自己表現できる、そんな貴重な場を提供していただき、本当にありがとうございます。今後もよろしく願いいたします。

・アイオン、次、いつ行きますか？と、催促されます・・・。

自分の近々の出来事を話したよ、お友達からこんな話を聞いたよ、など話してくれます。

・とても楽しみにしており、自分への自信もついたようで、親も嬉しいです。

先生の言ったこと、友達の様子など（子供の目線なので非常に些細な事が多いですが）話すことがあります。別の場所で過ごした時間について、親に聞かれても「忘れちゃった」と答え、なかなか聞けませんが、アトリエあいおんのことは話してくれることが比較的多いと思います。

